

関東地方整備局管内 工事事故事例 【平成29年度3月期】



関東地方整備局
企画部 技術調査課

■工事事故発生状況

平成30年3月期(3/1～31)までに、関東地方整備局発注工事において**3件**の工事事故が発生。

	3月発生件数	累計件数
平成29年度	3 件	58 件
平成28年度	10 件	64 件

本資料においては、発生した事故の一部の事例について、発生事象や発生原因、本来とるべきと考えられた行動、事故を受けて立案された再発防止策等を紹介しています。

平成30年3月期 工事事故発生事例

【事故事例①】 土砂運搬中の重ダンプが運搬路の路肩から転落

工事種別	一般土木工事	事故発生日	平成30年3月5日	気象条件	雨
------	--------	-------	-----------	------	---

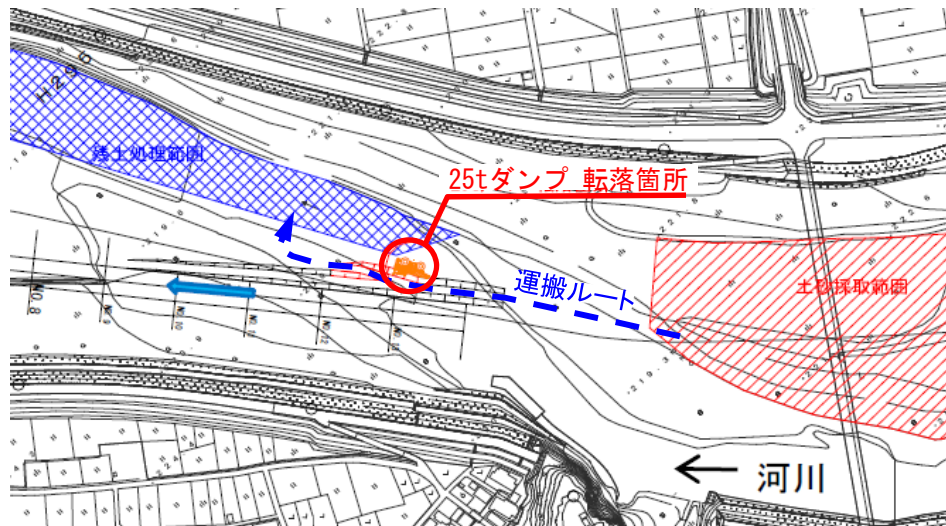
■事故概要

その他 - その他の事故

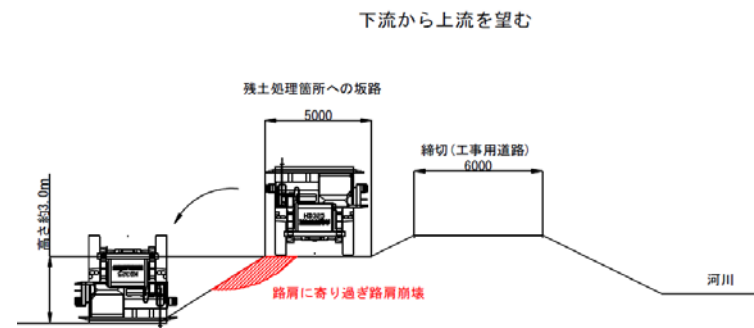
- ・ 河道整正工のため、重ダンプを用いて土砂の運搬作業を行っていた。
- ・ 事前に指示していた運搬経路が雨でぬかるんでいた為、仮締切りの天端を運搬経路とし作業を行っており、作業場所へ降りるために急遽施工した坂路を重ダンプが走行していたところ、路肩が崩壊し、重ダンプが転落した。（負傷・物損なし）

■事故発生状況

事故発生時の配置



事故発生状況



平成30年3月期 工事事故発生事例

【事故事例①】 土砂運搬中の重ダンプが運搬路の路肩から転落

発生要因

○工事用道路の整備不良

急遽、工事用道路として使用するため施工した坂路であり、締め固めが不十分であったため、走行中に路肩が崩壊した。また、締切天端を走行することを想定していなかったことから路肩の表示がなされておらず、重ダンプが路肩に寄りすぎていた。

○作業変更時の安全確認不足

当日の現地状況により、急な運搬ルート変更の必要が生じたが、その際に元請・下請け（作業関係者）で打合せをせず、安全確認もしないまま、安易に天端道路を使用することとした。

◆本来ならば・・・

- ・ 工事用道路は建設機械の走行に耐えうるよう堅固に締め固め、路肩はオペレーターや運転手から視認出来るよう路肩表示を行うべきであった。
- ・ 作業計画に変更が生じた場合は、変更内容に応じた危険項目を改めて抽出し、安全管理も含めて変更作業手順を検討すべきであった。

➡ 関係法令等：土木工事安全施工技術指針 第1章第4節 工事現場管理、
第6章第2節 トラック・ダンプ・トレーラー等

再発防止策

○適切な工事用道路の整備・危険の周知

ダンプトラックの走行路は転落のおそれが無いよう、幅員の確保された緩やかな斜路の工事用道路を整備するとともに、路肩表示や保安施設の設置箇所についてKY等を通じて注意喚起を行う。

○作業変更の申し合わせ

現場状況により作業の変更が生じた場合は、下請けから元請に報告するとともに変更後の作業方法について安全管理を含めて相互に申し合わせるよう徹底する。